

少数台数のリコール届出の公表について（平成25年10月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成25年10月は10件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：新潟トランス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月4日	3235	車名：ニイガタ 型式：JDS-NR6A 他 通称名：ニイガタNR282ロータリ除雪車 他	24	平成21年9月1日～ 平成22年12月28日
不具合の部位等	<p>静油圧変速機を作動させる油圧ポンプにおいて、油圧ポンプ組立時にリヤポンプの締結ボルトを過大トルクで締結したためメネジが変形しているおそれがある。その場合、ボルトの締結力が低下しているため当該ボルトが使用過程において緩み脱落する。そのままの状態で使用を続けると、ポンプ締結部より作動油が漏れ、最悪の場合、作動油が不足して静油圧変速機が作動しなくなるおそれがある。</p>			

2. 届出者：新潟トランス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月4日	3236	車名：ニイガタ 型式：JDS-NR6A 他 通称名：ニイガタNR282ロータリ除雪車 他	37	平成24年10月1日～ 平成25年2月28日
不具合の部位等	<p>原動機と変速機の間推進軸の等速ジョイントにおいて、部品製作時の加工が正しく行われていないため、そのままの状態で使用を続けると、等速ジョイントが破損し、動力伝達が途切れて走行不能になるおそれがある。</p>			

3. 届出者：新潟トランス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月4日	3237	車名：ニイガタ 型式：JDS-NR40A 他 通称名：ニイガタNR401ロータリ除雪車 他	16	平成20年11月4日～ 平成25年1月31日
不具合の部位等	<p>減速機と推進軸の取付けに使用しているボルト及びナットと前軸側スペーサの材質が不適切なため、材質に応じた締結トルクでは適切な締結力が得られない。そのため、ボルトが緩み脱落することで、動力伝達が途切れて走行不能になるおそれがある。</p>			

4. 届出者：ハーレーダビッドソンジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月18日	外1976	車 名：ハーレーダビッドソン 型 式：EBL-FLHM 他 通称名：ストリートグライド 他	71	平成25年 9月 4日～ 平成25年10月 9日
不具合の部位等	<p>①油圧式クラッチにおいて、マスタシリンダーの設計が不適切なため、気泡の入りやすい構造となっている。また、誤品のクラッチプレートを取り付けたものがあるため、クラッチが切れにくくなり、変速できずに、最悪の場合、減速時に転倒したりエンストするおそれがある。</p> <p>②油圧式クラッチにおいて、誤品のクラッチプレートを取り付けたものがあるため、クラッチが切れにくくなり、変速できずに、最悪の場合、減速時に転倒したりエンストするおそれがある。</p>			

※ 平成25年10月18日 公表済み

5. 届出者：三菱農機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
10月21日	3252	車 名：三菱 型 式：KDN-VC63A 他 通称名：VY463 他	17	平成25年 8月 6日～ 平成25年 9月10日
不具合の部位等	刈取脱穀作業車のエンジン冷却装置のファンブリーにおいて、ボルト取付け座面の強度が低い不良品が製造行程に混入したため、当該ブリーが破損して冷却ファンが動かなくなる場合がある。そのため、そのままの状態で使用をつづけると冷却性能が低下しているためオーバーヒート状態になるおそれがある。			

6. 届出者：ポルシェジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月24日	外1975	車 名：ポルシェ 型 式：ABA-92AM5502 他 通称名：カイエン 他	4	平成25年 8月29日～ 平成25年 9月27日
不具合の部位等	燃料計において、製造時に入力された燃料残量を表示するための設定値が不適切なため、実際の燃料残量よりも多く表示されることで、燃料残量を正しく認識できずに、燃料切れによるエンジンストールが発生するおそれがある。			

7. 届出者：ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月24日	外1977	車 名：キャデラック 型 式：ABA-A1SL 通称名：A T S	11	平成25年 6月 3日～ 平成25年 6月19日
不具合の部位等	ブレーキランプをコントロールしているボディーコントロールモジュールに使われている電子部品の製造が不適切なため、ノイズが発生することで、ブレーキを踏んでいないにもかかわらず、ブレーキランプが点滅することがある。この場合、クルーズコントロールを使用していると、勝手にキャンセルされる。ブレーキランプが点滅しても車両が減速しない状況が続いた場合、後続車の誤認識を招く恐れがあり、最悪の場合、追突される恐れがある。			

8. 届出者：プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月25日	外1971	車 名：プジョー 型 式：ABA-T85F02 通称名：3008	73	平成24年11月 5日～ 平成25年 4月 1日
不具合の部位等	ブレーキマスターバックにおいて、内部部品のダイヤフラムの強度が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けるとダイヤフラムが変形し、ブレーキペダルを放した際にブレーキペダルが規定の位置まで戻らなくなり、ブレーキの引き摺りやブレーキランプが点灯したままの状態となるおそれがある。			

9. 届出者：株式会社光岡自動車

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
10月30日	3256	車 名：ミツオカ 型 式：ZAE-MT3 通称名：L i k e - T 3	9	平成24年10月 1日～ 平成25年 5月31日
不具合の部位等	①かじ取り装置（フロントフォーク）の強度が不足しているため、悪路走行や段差乗り越え等の前輪への大きな衝撃荷重を繰り返し入力すると、最悪の場合フロントフォークが変形し、車両の操縦性と安定性が低下するおそれがある。 ②警音器（ホーンスイッチ）の防水性が不適切なため、集中豪雨など多量の雨水を被水した場合、スイッチ内部の電気接点部に水が浸入する場合がある。そのため、警音器スイッチの操作に関係なく警音器が吹鳴するおそれがある。			

10. 届出者：ボルボ・カー・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月31日	外1978	車 名：ボルボ 型 式：CBA-FB6304T 他 通称名：ボルボS60 他	77	平成25年 7月16日～ 平成25年 8月23日
不具合の部位等	セントラルエレクトロニックモジュールのソフトウェアが不適切なため、駐車中に大きな待機電流が流れ続けることで、バッテリー上がりを起こし、エンジンを指導出来ない及びリモートコントロールでドアロックを解除できなくなるおそれがある。			

【参考】

●平成25年10月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	20件 (- 1)	15件 (- 1)	5件 (0)
輸入車	9件 (+ 4)	4件 (+ 1)	5件 (+ 3)
計	29件 (+ 3)	19件 (0)	10件 (+ 3)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成25年度)

<速報値>

月	届出件数			対象台数		
	国産車	輸入車	合計	国産車	輸入車	合計
4	18(+4)	7(-8)	25(-4)	1,023,922(+941,706)	7,500(-47,380)	1,031,422(+894,326)
5	8(-7)	13(+4)	21(-3)	270,667(-62,692)	118,690(+102,403)	389,357(+39,711)
6	23(+8)	9(+2)	32(+10)	<u>705,638(+437,617)</u>	4,332(+3,282)	<u>709,970(+440,899)</u>
7	16(-29)	10(+3)	26(-26)	1,088,311(+682,336)	14,657(+14,524)	1,102,968(+696,860)
8	13(-1)	4(0)	17(-1)	5,337(-32,629)	910(-468)	6,247(-33,097)
9	22(+13)	10(+4)	32(+17)	1,920,523(+1,898,584)	2,535(+1,377)	1,923,058(+1,899,961)
10	20(-1)	9(+4)	29(+3)	300,223(-264,791)	6,602(-999)	306,825(-265,790)
小計	120(-13)	62(+9)	182(-4)	5,314,621(+3,600,131)	155,226(+72,739)	5,469,847(+3,672,870)

注：下線部については、平成25年6月19日付けで届出されたリコール届出番号「3180」の対象車両数を、11月1日付けで訂正したことから更新した。

※ () 内は、対前年比